その人らしくを大切に
社会福祉法人
すこやか福祉会

住みなれたまちで

2023
5
Vol. 63

社会福祉法人すこやか福祉会
発行日：2023 年 5 月 1 日　第 63 号
本部事務局　住所：〒120-0023
東京都足立区千住曙町 4－16
TEL：03-5813-9251

2023 年 4 月 新卒介護職員入職しました！



今年度もフレッシュな新卒職員が入職しました。新卒介護職員はグループで 15 名、内すこやか福祉会に 9 名入職しました。

4月1日、三郷中央におどりプラザにて、桜の木々が満開に咲き誇る中、多職種の新入職員が一堂に会し、入社式および入職研修を行いました。新入職員の皆さんの希望に満ちた清々しい姿に期待を寄せて、幹部から温かい歓迎の言葉や熱いエールが送られました。

また、入職研修では、民医連や協議会の歴史や理念、医療安全･個人情報保護について学びました。新入職員の皆さんにはこれをスタートに一層努力して、自分の役割を果たし、命と人権を守る社会に貢献していくことを期待しています。



合同入社式の様子

新卒事務職員入職しました！
特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷

鈴木さん

あいさつや素直な心など基本的なこと、初心を忘れずに大きく成長できるような人財になりたいです。

よろしくお願い致します。

新卒保育士入職しました！
八潮かえで保育園

白江さん



保育士を目指そうとしたきっかけは自分が幼い頃通っていた園での先生方の子どもたちへの接し方や、未来へはばたく子どもたちのお手伝いが出来るステキな仕事だなと思いました。

4 月から本格的に保育士として働き始め、優しくサポートしてくださる先輩職員の方々や、元気いっぱい笑顔いっぱいの子どもたちに支えられ、日々学び、楽しく保育士として働いています。

社会福祉法人すこやか福祉会　2023 年度事業活動計画

アフターコロナの新しい景色を見るために

★「新たなノーマル」の訪れ

コロナ禍が始まって 3 年が経過し、国は「日常への回帰」に向けてコロナ禍の特例を順次廃止する方向を示しています。私たちはあらためて事業活動を再構築していく必要が生じています。after コロナ期において、私たちがコロナ前にノーマルと考えていた状態に完全に戻ることはなく、「新たなノーマル」が訪れることは必須です。また、資本主義経済の大前提である「大量生産・大量消費をベースとした経済成長による恩恵」の瓦解が決定的になっています。今までこうだったというような固定観念に縛られることなく、新たな取り組みに対応できる柔軟な思考が求められています。新たな可能性の芽は、いたるところに出始めています。それに気づくか気づかないか、それに取り組めるか取り組めないかが、私たちが新しい景色を見ることができるポイントです。



★保育を取り巻く状況の変化

厚生労働省発行資料に保育所利用児童数のピークは令和 7 年(2025 年)とありました。第 2 次ベビーブーム期(1971～1974 年)の出生数 200 万人超が 2022 年には 80 万人を下回り過去最低を更新しています。保育施設数は増え続け、今後減り続ける子どもの数という状況下で 2025 年頃には保育の需給バランスが逆転し、園児や保育士の獲得がさらに厳しくなることが予想されます。営利法人の参入により本格的な競争市場になっている保育分野での課題は選ばれる園になることです。第1に「子ども・保護者から選ばれる」、第2に「学生・求職者から選ばれる」、第3に「職員から選ばれる」ことが求められます。

★「人材不足」「コロナ禍」「物価高」の三重苦

人口減は社会の支え手を減らします。しかも、次世代が減り高齢者が増えるという未曽有の人口構成です。どうやって社会を維持し次世代の子どもたちに渡していくのか、今を生きる世代が引き受けなければならない課題です。そして「介護が必要になっても自宅で暮らしたい」、そんな願いの実現に不可欠なのが介護保険です。介護を家族まかせにせず社会全体で支えるために始まりましたが、政府は負担を増やしサービスを削る改悪を重ねてきました。改悪が進む中、介護サービス事業者の倒産が増えています。倒産増加の背景には、前述した右肩下がりの介護報酬だけでなく、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用控えや物価高騰も要因で、介護サービス事業者は、「人材不足」「コロナ禍」「物価高」の三重苦にあえいでいる状況です。



そのような状況下で、私たちすこやか福祉会は 2023 年度事業計画として以下の課題に取り組みます。

① 「全職員参加の経営」の実践で安定した経営体質づくり
② 第2次5カ年計画（AREAMOVEMENT2025）の重点課題への果敢な取り組み
③ 法人運営の新たな段階をめざすための幹部配置と事業活動を担う人材の確保と育成
④ 平和や社会保障拡充・環境問題の取り組み
⑤ 様々な関連法規・対策課題を学び、良質かつ適切な福祉サービスの提供と実践課題
⑥ 経営戦略・人材戦略の一環としての広報PR活動、ブランド戦略の具体化

すこやか福祉会 新統括マネジャー＆ 葛飾やすらぎの郷 新施設長 ご挨拶

社会福祉法人すこやか福祉会
新統括マネジャー 天野　義久



特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷
新施設長　落合　直人



このたび、4月1日付で葛飾やすらぎの郷施設長を退任し、すこやか福祉会法人統括マネジャーの任に就くことになりました天野と申します。

私は、2019年4月ちょうど40歳の年にやすらぎの郷に異動し、施設長となりました。体験したエピソードは数え切れませんが、やはり一番の思い出は2020年2月頃から始まったコロナ禍です。未曾有の事態の中、常にその初めての対応や難しい判断に追われていたことを振り返ります。様々な制限を余儀なくされましたが、今後はアフターコロナにおける新しい生活スタイルの形を一つひとつ再構築していくことが求められます、新任の落合施設長中心に全体で改革していきたいと思います。





そして今年度からは統括マネジャーとして法人全体を把握･舵取りを行う立場となりました。先ずは10月に控える社会福法人さくら福祉会との法人合同という大きな動きがありますので、お互いの経験値を足し算ではなく掛け算になるよう、心強い仲間と共に組織を盛り上げていけたらと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

うららかな春の日差しが心地よい季節になりました。

4/1 より前任の天野施設長から交代して施設長の任に就くことになりました落合です。私自身はデイサービス等の在宅系での現場経験はありますが、特養等の施設系での経験がありません。特養の事業運営について学びながら、前任の天野施設長の足跡を辿りつつ職務を全うできるよう努めてまいりたいと思います。これまでは本部に所属し介護現場からはかなり遠ざかっていましたが、現場職員の皆さんと力を合わせて入居者の皆様お一人お一人が希望されている生活を実現できるように支援していきたいと思います。

新型コロナウイルスも 5 類に引き下げられることが決まりました。施設内の基本的な感染対策は継続しながら、制限や中止をしていたボランティアの受け入れや各種行事についても徐々に再開していきたいと考えています。交代してしばらくは関係者の皆様には、ご心配やご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしくお願い致します。



～保育事業部～

保育で大切にしていること

こばとの森保育園

葛飾区「金町駅」から、徒歩 14 分の都立水元公園に近くの住宅街の中にある保育園です。

定員は 84 名。今年の 3 月は、12名の子どもたちが卒園していきました。

毎年、寂しい気持ちになりますが、晴れやかな気持ちで別れを受け入れ、子どもたちが自然体の自分で新しい出会いを経験出来るようにしていきたいと思っています。

こばとの森保育園では、「考える」という体験を大切に子どもたちを育ててきました。

色々な場面や、何かに対してすぐに答えをもとめてしまいますが、大切なのは答えじゃなくて、想像すること、考えること。

考える力があれば、困ったときにどうすればよいか分かる。

考える力があれば、どうしたら楽しいのか分かる。

考える力があれば、人の気持ちも分かる。

保育園でよくしている「考える」というテーマの遊びを1つ紹介します。

性別も年齢もバラバラな 2 人組を作って「同じところはどこ?」と探し合います。

考えて考えて・・・「爪が同じ!」「まつげが同じ!」

そう! 何を答えても不正解はなし。



新型コロナウイルス、国際情勢、為替の変動、「予測不能なこと」が日常的に起こり、日々の生活や働き方などが思わぬ方向に進む事態が起こり、子どもたちは、これから前例のない「答えのない時代」を生きていきます。

どんな状況でも力強く生きていけるよう、考える力が子どもたちの力になるようにと願っています。

園長　山下香織

寄付のお礼

常日頃から当法人の社会福祉事業にご協力･ご支援いただき、感謝申し上げます。この間、貴重なご寄付を多くの方々からいただきました。
心からお礼申し上げます。

すこやか福祉会　2022 年度寄付金収入総額

5,557,167 円

施設の充実に役立つよう、大切に活用させていただきます。高齢になっても、障がいがあっても、安心して住みなれた地域に住み続けることが可能になるよう、また「いつでもどこでも誰でも安心してサービスが受けられること」ができる介護保障の実現のために、役職員一同、これからも奮闘していく所存です。

どうぞ今後とも、今までと変わりないご支援･ご協力を重ねてお願い申し上げ、お礼にかえさせていただきます。

公式 SNS のご紹介

公式 HP/介護採用 HP

介護･保育事業所での取り組みや介護技術･採用に関するコンテンツを発信しています。

Instagram 公式/介護採用

介護･保育の魅力を中心に発信しています。日々の食事や季節を感じられるイベントも。

SUKOYAKA.F

SUKOYAKA_KAIGO_SAIYOU

ぜひフォローをお願いします。
皆様からのいいね! をお待ちしています。